

月日（日時）	／	／		／ ～ 退院
経過（病日等）	手術前日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後 1 日
	- 安心して手術に臨めるように、目的・内容を理解しましょう。 - 手術に必要な準備をしましょう。 - 下剤の内服について疑問や不安がある場合はお知らせください。 - 下剤内服後の便の状態を確認し、看護師にお知らせください。	- 安全に手術を受けられるよう準備をしましょう。 - 下剤の内服について疑問や不安がある場合はお知らせください。 - 下剤内服後の便の状態を確認し、看護師にお知らせください。	- 手術後は安静を守りましょう。 - 腹部の痛みや不快感、血液の混じった便が出るなどの症状がある場合はお知らせください。	- 腹部の痛みや不快感、血液の混じった便が出るなどの症状がある場合はお知らせください。 - 食事開始後の症状の変化を教えてください。 - 安全に退院後の生活を送れるよう、心配なことは医師、看護師に相談しましょう。 - 退院後の生活上の注意点を理解しましょう。
点滴		手術前より点滴を始めます。 	点滴があります。	朝の点滴があります。
薬	- 現在内服している薬を確認します。 - 医師の指示通りに内服してください。 - 眠前に下剤を内服します。	- 午前（ ）時頃より下剤を内服します。 - 指示以外の内服はしないでください。	昼以降の内服薬は中止です。	- 医師の指示通りに内服してください。 - 普段内服している薬が再開となる予定です。看護師が説明します。 
検査	☐ 血液検査 ☐ 心電図 ☐ レントゲン があります。	大腸内視鏡（ポリペクトミー、EMR） - 手術着に着替え、スリットパンツを履きます。スリットパンツは穴が肛門側にくるように履いてください。 - 手術に呼ばれたら内視鏡室に行きます。		☐ 血液検査があります。
治療・処置		医師の指示で手術前に浣腸を行う場合があります。		
活動・安静度	制限はありません。	制限はありません。	ベッド上での安静、またはトイレのみ歩行が可能になります。	症状がなければ、制限はありません。
食事	- 食事療法をされている方、アレルギーのある方はお知らせください。 - 大腸検査食になります。	- 朝から食事はできません。 - 下剤内服終了後の飲水（水、お茶のみ）は可能です。	手術後の飲食については、医師または看護師が説明します。	- 手術後の経過により朝から食事（流動食から）が開始されます。 - 食事開始後は、食事摂取量、食後の症状変化の有無などを看護師が確認します。
清潔	シャワー浴ができます。 	シャワー浴はできません。		身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。
排泄	制限はありません。	- 制限はありません。 - 排便状況を確認します。 - 手術の連絡がありましたら、トイレを済ませてください。	手術後の経過によりベッド上、またはトイレのみ歩行が可能になります。最初の歩行の時には看護師が付き添いますのでナースコールでお知らせください。	症状がなければ、制限はありません。
説明 生活指導	- 入院生活について説明します。 - 手首にリストバンドをつけます。 - 医師、看護師より手術について説明します。 - 大腸ポリペクトミー、EMR（内視鏡的粘膜切除術）の同意書を確認します。 - 大腸内視鏡問診票を記入します。 - 売店で検査・治療専用のスリットパンツをご購入ください。 - 手術中の顔色や爪色の観察のため、化粧やネイルカラー・ネイルアートは落としてください。	- 手首にリストバンドがついていることを確認してください。 - 治療に支障をきたす可能性があるため、義歯・指輪・ネックレス・ピアス・時計・ブラジャーなどの金属類、眼鏡・コンタクトレンズ・かつら・湿布は外してください。	手術後に腹部の痛みや不快感が出現したり、血液の混じった便が出る可能性があります。そのような場合は、速やかに看護師へお知らせください。	- 腹部の痛みや不快感が出現したり、血液の混じった便が出る可能性があります。そのような場合は、速やかに看護師へお知らせください。 - 退院後、指示された日まではアルコールなどの刺激物は避け、軟らかい食事、またはよく噛んで食事を召し上がってください。 - 退院後に腹部の痛みが強くなった、排便時に出血が多く見られるなどの症状があれば、次の外来まで待たず、受診もしくは電話でご相談ください。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。
※入院期間については現時点で予測される期間です。